

「釧路市立音別義務教育学校」開校準備協議会 第7回会議 議事要旨

■会議名

「釧路市立音別義務教育学校開校準備協議会」 第7回会議

■開催日時及び場所

2025(令和7)年5月29日(木)午後6時30分

音別町コミュニティセンター 研修室1～3

■報告事項及び議題

(1)報告事項

令和6年度における開校準備協議会の経過について

(2)議題

- ①開校記念日について
- ②校旗のデザインについて
- ③教育部会について
- ④工事スケジュールについて

■結果

(1) 報告事項

事務局より、令和6年度に開催した2回の会議内容について説明した。

(2)議題

- ①開校記念日については、10月11日に決定した。
- ②校旗のデザインについては、校章を中央に配置し、校名文字色は銀色で校章の下側に横書きとし、背景色は紫紺に決定した。
- ③教育部会からの報告として、これまでの活動内容や、来年度の開校に向けた部会としての活動計画や推進案について説明があった。
また、制服検討委員会で決定した、制服デザインについても説明があった。
- ④工事スケジュールについて、昨年度末をもって完了していた音別義務教育学校の整備計画について、事務局より改めて計画の概要と今後のスケジュールについて説明をした。

■発言要旨

(1)開校記念日について

事務局:開校記念日の設定については、特に基準は無い。阿寒湖義務教育学校の場合は新しい学校名が決まった日を開校記念日とした経過がある。

このことから、「音別義務教育学校」についても、校名が決定した10月11日を開校記念日にする案を事務局から提案させて頂きたい。

会 長:特に意見など無いようなので、開校記念日は提案どおり10月11日とする。

(2)校旗デザインについて

事務局:校旗デザインは、校章を中央に配置し、校名を左側または下に配置するのが一般的である。既に校章デザインは決定済みなことから、校章を中央に配置し、背景色や校名位置の違うデザイン案4つを提示させて頂く。

委 員:小学校の校章を引続き使うわけだが、現在の校旗の背景色について、何かいわれなどあるのか。

事務局:現在の小学校校旗の色は紫紺と呼ばれる色であるが、その経緯について事務局としては情報を持っていない。

委 員:校章を決める際、新たなものを作るより、小学校と中学校のどちらかを残すとの話が出た。そのことから、現在の色が一番良いのではないか。

委 員:私たちが決める以上、何故この色にしたのかという理由も残した上で決めたほうが良い。例えば歴史を引き継ぐため同じ色にしたとか。

会 長:中学校の校旗はグリーンである。参考までにそれぞれの色が持つ意味について紹介する。青が知性、誠実さ、希望。赤が情熱、挑戦、活力。緑が自然、調和、成長。白は清らか、公正、未来への期待となっている。

委 員:卒業生の親としては、この紫紺色の校旗をずっと見ていた記憶がある。この色を残して欲しい。

会 長:色々なご意見を踏まえ、校旗のデザインについては、背景色を紫紺、学校名は現在の左側から校章の下側へ、校名文字色については現行の小学校旗と同色の銀色ということで決定してよろしいか。

(各委員 発言なし)

(3)教育部会からの報告

委 員:音別義務教育学校の教育目標は、音別小の教育目標5つと、音別中の教育目標4つをもとに作成した。学年段階は4－3－2の3ステージ制とした。学校行事については、運動会・体育大会を昨年度は小中合同で実施、今年度は認定こども園も加えた合同運動会と題して実施する。

学芸会・音中際は今年度から合同実施の予定。

中学校は1時間の授業が50分、小学校は1時間の授業が45分であることから、チャイムは8時15分、10時40分、13時25分の1日3回だけの設定で運用している。

校内研修については、小・中それぞれで研究を進め、合同で開催する校内

研修も取り入れ、来年度の校内研修体制を整えていく。

制服については、昨年度に制服検討委員会を開催し、デザインやネクタイの色が決定した。

制服はブレザーのボタンが外れ付け替え可能となっており、男女兼用となる。ネクタイリボンの色は緑を基調とした。今後スクールカラーなどに活用していく予定。

見本を小学校の1階ホールに展示しているので、ご覧頂きたい。

児童生徒会については、来年度合同で進めていく。合同で出来る行事は5点、廃止出来る行事1点、実施を検討する活動は2点と整理し、今年度の活動を進めながら検討していく。

教育部会の構成や部員、業務内容については、連携事務局部会や連携全大会、連携教務部会、連携指導部会、連携事務部会については、昨年度の組織を踏襲し、管理職2名が入った中で協議進めている。

PTA の合同化について進めていく必要がある。11月15日開催予定の土曜活動日は小中合同で実施をし、授業後に PTA 部会を開催し今後の活動方針や内容を検討予定。

今年の3月からは中学校が小学校の2階に引越し、より深い協議をしやすくなっている。今後も音別地区の児童生徒が気持ち良く学校で過ごし、安定した学校生活を送れるよう、小・中の教職員が団結して学校を運営していく。

会 長:ご意見、ご質問があれば、挙手願いたい。

委 員:報告の中でグーグルドキュメントやクロームブックなどの言葉が出てきた。釧路はグーグルに寄りがちだと思うが、多くの会社ではマイクロソフトのエクセルなどである。実際子供たちが会社で就職した時のことを考えると、マイクロソフトのサービスを使わせたほうが子供たちの力になるのでは。

事務局:現在の GIGA 端末は、第1期目であり、様々な自治体で基本的に国が示す端末、OS がグーグルのクローム OS とアップルの iOS、ウィンドウズ OS となっている。全国の学校現場で1番選ばれているのはクロームブックの OS となっている。それに基づき各自治体で申請し、北海道で一括調達しているが、ウィンドウズ OS を選ぶ自治体は少ない状況である。エクセルとスプレッドシートでは確かに使い勝手が違うが、社会に入った中でそこに適応して頂く形になるかと思っている。

委 員:オフィス365は、アプリが作れたり自動化が出来たり、クラウド上のサービスだけでなく他のことも色々出来る。指導などが出来る人間がいらない中で少しでもその様な機会を増やしてあげたい。子供たちにとって本当に最適なものは何なのかということを、どこか心に置いて頂ければと思う。

事務局:ウィンドウズ、ワード、エクセルが企業で一般的に使われていることは十分に承知している。1番大事なことはICT 機器を上手に活用することである。最終的には色々な選択肢が出てくるが、各自が選択しながら社会の中で上手になってもらいたいと思っている。

委員:郷土芸能保存会の会長を11年やっているが、高齢化が深刻である。学校側に協力頂きたい。

委員:学校としては、運動会において落まつり音頭を全員で踊る種目もあり、保存会の方からの指導を頂いている。

また、徳島県鷲敷中学校との交流においても、一緒に落まつり音頭を踊るなどしており、子供たちには根付いていると思っている。

また、現在は小中学生の「落刈り体験」についても計画中である。

(4)工事スケジュールについて

事務局:音別義務教育学校の整備計画については、音別小中学校との協議により作成した計画案を、開校準備協議会にてお諮りし、昨年度末をもって完了した。今年度新たに委員になられた方もいることから、これまでと重複する内容もあるが、改めて計画の概要と今後のスケジュールを説明する。

新しい学校は音別中学校の校舎を改修し、南西側に鉄筋コンクリート造2階建ての増築等を建設する。改修内容は長寿命化改修として、外壁塗装サッシ改修、屋上防止改修などを行う。また、間仕切り改修、LED 照明や放送設備の更新、給排水設備や暖房設備の更新などを行う。

校舎棟の増築部分1階に、普通教室4室、特別支援教室3室、トイレ、エレベーターなどを設置する。既存棟の改修内容は職員室や保健室などの間仕切り改修、バスケットゴールについては、高さを変えられる物に更新する。校舎棟の増築部分2階には、普通教室5室、特別支援教室1室、トイレ、エレベーターなどを設置する。

工事スケジュールについては、本年6月末に着工し、増築工事及び改修工事とも、2026年(令和8年)9月30日の工期を予定している。

工事開始により、学校や近隣の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力を頂きながら事業の推進に努めて参りたいと考えているので、よろしくお願いしたい。

委員:この場で質問する内容ではないかと思うが、事業者としてガス供給をさせてもらっている関係上確認したい。現在のガス管はかなり古いがどうなるのかなど、今後、情報交換をしたいが窓口を教えてください。

事務局:施設整備に関する問い合わせ先については、総務課の施設係となる。

■担当課係

学校教育部学校教育課教育政策係